



令和6年度 補助事業等実績報告書

令和6年10月30日

函館市長 大 泉 潤 様

〒040-0035

住所 函館市松風町10番2号

申請者

団体名 函館日韓交流会

代表者氏名 会長 申 東煥

補助事業等の名称 日韓科学交流事業

令和6年7月22日^(印)函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、
令和6年9月30日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 43,000円

補助金等領収済額 金 43,000円

補助金等領収未済額 金 0円

補助事業等の計画（実績）書

名 称	日韓科学交流事業
開 催 期 日	令和6年8月22日～令和6年9月30日
開 催 場 所	函館市国際水産・海洋総合研究センター、函館市民会館 シエスタハコダテ（はこだて国際科学祭開催地）など
主催者、共催者 および後援者等	主催 函館日韓交流会 共催 株式会社函館研究所
参 加 人 員	・韓国側17名：東亜サイエンス教育企画研究所3名 子供科学東亜記者団参加親子14名 △10名 ・日本側17名：函館日韓交流会3名 はこだて国際科学祭参加親子10名 △10名 その他4名（補助通訳1名、科学祭3名） うち外国人参加人数 17名
補 助 事 業 等 の 内 容	・はこだて国際科学祭に参加し、同研究所が開発した教材を使い、日韓の子供達（11名）向けの科学教室を行った。 ・科学祭関係者や参加者の取材を行った。 ・青少年のための科学の祭典函館大会に参加し、日本の実験ブースを体験し、取材を行った。 ・函館市内の環境関連施設及び企業を訪問し、取材を行った。 ・海洋センターで水産・海洋都市函館について学び、環境に関する取材を行った。
補 助 事 業 等 の 実 施 に よ る 効 果	・科学祭や科学祭典に参加し、函館市民の科学活動を知ってもらった。 ・韓国の科学教室プログラムを紹介し、函館の子供達と韓国の子供達との交流を深めた。 ・今回の活動様子や取材内容を「子供科学東亜」に掲載することで函館のPRに繋がった。 ・毎年、函館で行う海外キャンプのプログラムが整えた。
備 考	<子供科学東亜> 東亜サイエンスの子供向けの科学雑誌で月2回発行。 この雑誌では「子供科学東亜記者団約25,000人」と市民参加科学プロジェクト「地球愛探査隊年間約3,500人」を運営中。 [] は元編集長であり、プロジェクト企画者である。 通常、[] として、科学教室を開催している。 今回、子供科学東亜記者団の親子14名と共にはこだて国際科学祭参加及び函館キャンプを開いた。

- （注）
1. この様式は、大会等の開催その他これに類する事業等に係る補助金等の実績報告をする場合に使用すること。
 2. 補助事業等の内容は、詳細に記載すること。（別紙も可）
 3. その他必要と認めた書類を添付すること。

補助事業等の収支予算（決算）書

収入の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 （本年度予算額）		前年度予算額 （本年度決算額）		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
自己資金	31,000	31,000	31,000	31,000	0	0	
協賛金	55,000	55,000	59,599	59,599	4,599	4,599	
函館市補助金	43,000	43,000	43,000	43,000	0	0	
合 計	129,000	129,000	133,599	133,599	4,599	4,599	

支出の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 （本年度予算額）		前年度予算額 （本年度決算額）		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
報償費	79,000	79,000	79,000	79,000	0	0	
交通費・宿泊費	40,000	40,000	46,101	46,101	△6,101	△6,101	
事務経費	10,000	10,000	8,498	8,498	1,502	1,502	
合 計	129,000	129,000	133,599	133,599	△4,599	△4,599	

収支差引額 0 円

- （注）
1. この様式は、補助金等に係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

（共通第4号様式別添）

予算(決算)額内訳一覧

(収入の部)

(単位：円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算額)		積算内訳	備 考
		うち、 補助対象事業		
自己資金	31,000	31,000		
協賛金	59,599	59,599		株式会社函館研究所
函館市補助金	43,000	43,000		
合 計	133,599	133,599		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算（決算）書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

予算(決算)額内訳一覧

(支出の部)

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算額)		積算内訳	備 考
		うち 補助対象事業		
報償費	79,000	79,000	通訳謝礼(1日6時間) 1名×12,000円×3日=36,000円 1名×12,000円×1.5日=18,000円 通訳謝礼 A4(400字)×5枚×5,000円=25,000円	添付① 添付② 添付③
交通費	46,101	46,101	8月22日~26日レンタカー代40,920円 ガソリン代5,181円	添付④-a 添付④-b
事務経費	8,498	8,498	消耗品3,778円 消耗品4,720円	添付⑤ 添付⑥
合 計	133,599	133,599		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
 2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
 3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
 4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。